



「和泉市ゼロカーボンシティ」を表明します

地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨などの気候変動によるリスクが今後も懸念されるなか、国連の気候変動に関する政府間パネルの特別報告書には、こうしたリスクの低減のためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要があると示されています。

また、令和2年10月26日に、菅義偉首相は所信表明演説で、国内の温室効果ガスの排出を2050年までに全体としてゼロにするとの方針を表明しました。

和泉市は、豊かなみどりと水に恵まれ、四季折々の自然と歴史的・文化的遺産に育まれ、自然と調和した美しいまちとして発展してきました。これらの豊かな環境とその環境がもたらす恵みはかけがえのない財産であり、この共有財産を守り、良好な形で次の世代に引き継がなければなりません。

そこで、和泉市でも将来にわたり、持続可能な循環型社会が形成されるよう、国や大阪府と連携しながら、2050年を目処に市内の二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明します。

令和3年4月1日

和泉市長

辻 宏康